

(様式)

大阪市設計・施工技術連絡会議 議事録

工 事 名	住之江下水処理場雨水滞水池並びに住吉川耐震護岸(1工区)築造工事		
会 議 名 称	大阪市設計・施工技術連絡会議		
開 催 日 時	令和3年2月4日(木)午前10:00~午前11:00		
開 催 場 所	大阪市建設局第13会議室(ATCビルITM棟11階)		
出 席 者	発注者	設計者	受注者
	建設局 下水道部下水道課 南部方面管理事務所管理課	(株)昭和設計	大林・鴻池・五洋・久本 特定建設工事共同企業体
議題・議事の内容			
<p>事業概要 (説明内容)</p> <ul style="list-style-type: none">・当初事業計画について・現在までの工事(これまでの計画変更要因)について <p>計画変更要因に対する追加対策 (説明内容)</p> <ol style="list-style-type: none">1) 浚渫土砂の搬入方法変更2) 地中障害物の撤去・処分の追加3) 既設排流渠の開口作業の施工方法の変更4) 作業構台の設置期間の延長5) 物価上昇6) 地中障害物の撤去7) 埋戻材の変更 <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・夢洲処分池での揚土作業に係るバージアンローダ船の拘束費は、搬出先の条件変更によりやむを得ないとする。・排流渠開口作業は、排流渠内の固化堆積物が新たに判明したことを考えれば、当初のドライ施工は困難であったと考えられる。・右岸側の作業構台の設置期間の延伸は、今後行う左岸側工事における滞水池供用開始時期を見据え安全性・確実性を重視した対応として妥当と考えられる。一方で、事業全体工程が当初工程より延長していることから、早期に供用開始できるように設備部門とも密に協調しながら工程管理を進めていく必要がある。			